

久保・長江中学校区に係る小中一貫教育校開校準備委員会（第13回）議事録

- 1 日 時 令和6年12月18日（水） 19:00～20:00
- 2 場 所 尾道市役所 2階 多目的スペース1
- 3 出席委員 久保小学校長、長江小学校長、土堂小学校長、山波小学校長  
久保中学校長、長江中学校長  
久保小学校育友会長、長江小学校育友会長、土堂小学校育友会長  
山波小学校育友会長、久保中学校PTA会長、長江中学校育友会長  
中濱教育総務部長、小柳学校教育部長、末國庶務課長  
安保学校経営企画課長、金子教育指導課長  
事務局10人

4 進 行

担 当	内 容
<p>小柳委員長</p> <p>総務等検討部 会長（土堂小 学校長）</p>	<p>（19:00 開会）</p> <p>1. 進捗状況の報告 皆さんこんばんは。それでは議事を進行する。委員長から、第12回開校準備委員会以降の進捗状況を報告する。開校資料の1をご覧いただきたい。これまで進捗管理をしている。ほぼ白の黒塗りになっていないものはわずかになってきている。これらについては次回、確認ができるように今考えている。</p> <p>それから、開校準備委員会だよりNo.13を11月7日に発行している。皆様方ご覧になられていると思うが、いつものように地域には回覧、その他コドモンで配信したり議員にお配りをしたり、市にも情報提供しホームページにも掲載している状況である。</p> <p>それでは縦2に入りたい。各部会長から部会の進捗状況と今後の予定について報告をしていただく。まず始めに、総務等検討部会部会長をお願いします。</p> <p>2. 部会の進捗状況と今後の予定について報告</p> <p>○総務等検討部会 令和6年12月9日（月）に土堂小学校で、第8回総務等検討部会を開催した。部会では、前回の総務等検討部会の振り返りを行って、検討依頼事項を協議した。</p> <p>（1）閉校記念事業について 久保小学校は10月19日（土）、長江小学校は11月17日（日）に、校舎見学を行ったことを情報共有している。また、土堂小学校も令和7年2月16日（日）で計画しているという報告があった。</p>

<p>生徒指導等検討部会長（長江小学校長）</p> <p>事務局（山本 学校経営企画課企画振興係主任）</p>	<p>(2) 閉校式について</p> <p>事務局に日程の確認とスケジュール等について説明があった。式次第として、概略と所要時間は約45分であることの説明があつて会場配置図の例を示されて各閉校式のイメージを共有した。また、各学校でのタイムスケジュールを事務局より提案し部会の参加者で確認した上で、閉校式の後、各学校の閉校記念事業が予定されているので各学校から概要を発表してもらい情報共有を行った。</p> <p>(3) 校章について</p> <p>尾道市立大学から提供を受けた印刷物により、最終デザインを確認した。</p> <p>(4) 校歌について</p> <p>作曲が出来上がり、デモテープを試聴した。この後、この会でも披露される。</p> <p>最後に今後の予定について確認を行ったが、総務等検討部会では、部会内で協議する事項がない状況であることから、この度の第8回総務等検討部会をもって部会は終了することが事務局から提案され、了承をされた。今後必要に応じて開校準備委員会の中で協議を行うことを確認し部会を終了した。</p> <p>○生徒指導等検討部会</p> <p>前回の開校準備委員会以降部会の開催はないが、12月に尾道みなと中学校区の通学路の合同点検を行った。詳しくは、事務局から説明を行う。</p> <p>通学路の合同点検について報告をさせていただく。はじめに関係学校の皆様におかれては、年末のお忙しい中また寒い中、合同点検にご出席いただきありがとうございました。今回の合同点検は、通学路交通安全プログラムとして申し出があった箇所を中心に、久保小学校区は12月5日（木）、長江小学校区は12月2日（月）、土堂小学校区は12月9日（月）、そして山波小学校区は12月5日（木）に行った。なお長江小学校区の合同点検には、長江通りの通学安全対策に係る連携の会の発足に伴い、今回は尾道北高等学校からもご出席をいただいた。合同点検の詳細な内容については今後、開催される生徒指導等検討部会で報告をさせていただくが、学校からの危険箇所の申し出に対して関係機関から対策案が提示されたのもあった。その内容としては、道路管理者においては、交差点マークの施工、外側線、ゼブラゾーンの塗り直し、路面への注意喚起の表示、具体的には「学童注意」と塗っていただくように提案</p>
---	---

	<p>があった。また、転落防止のためのポールの設置等の提案をいただいた。</p> <p>尾道警察署からは、横断歩道・停止線・菱形のダイヤモンドの塗り直しという提案をいただいた。早期の安全確保に向けて可能なものから速やかに実施するよう関係機関に要望をする。</p> <p>また、路線バスを活用した通学支援において、児童が乗車するバス停になる正授院前の長江口のバス停付近は、現在、外側線が消えており、歩道と車道がはっきりしていない状況にある。まずは、道路管理者である広島県に外側線を塗り直しをいただき、さらにバス停のある歩道部分は、歩道であることが目立つように着色していただくことで、徒歩通学の児童生徒も含めた通学時の長江通りの安全確保に向けた対策の実施を推進していく。また、長江通りを徒歩で通学する児童の通学路を裏道にしてはどうかという意見があったので、今回も実際に裏道を出席者で歩いたが、そこでの意見として、「街灯が少なく空き家も多いため、防犯面で課題があるのではないか。」「また裏道には何箇所もブロック塀があり地震などの有事の際に倒壊の危険性があるのではないか。」等という意見をいただいた。</p> <p>これらの意見を踏まえ、事務局としては長江通りの裏道は通学路に適さないものと考えているが、生徒指導等検討部会で協議を行い通学路を決定していきたいと考えている。今後とも、尾道市通学路交通安全プログラムを通じて関係機関と連携し、通学路における子どもたちの安全確保を図っていく。</p>
<p>生徒指導等検討部会長（長江小学校長）</p>	<p>また、尾道みなと小学校の通学支援対象区域（バス乗車可能地域）に在住する児童の保護者を対象に、路線バスを活用した通学支援の利用希望に係る調査を現在行っている。この締め切りは、明日12月19日にして学校で取りまとめるようにしている。今後の予定としては、次回の生徒指導等検討部会を令和7年1月に予定している。内容についてはレジメにあるように、「第2回通学路の合同点検について」と「生徒指導規程、危機管理マニュアルについて」等の協議を行う予定としている。</p>
<p>教育課程等検討部会長（山波小学校長）</p>	<p>○教育課程等検討部会</p> <p>教育課程等検討部会の動きについて、11月25日（月）長江小学校校長室において、尾道市教育委員会、2中4小校長が集まり、12月11日（水）に実施された中学校における「在校生保護者生徒対象説明会」の内容について協議を行った。12月11日（水）には両中学校で説明会が行われた。続いて、12月13日（金）長江中学校校長室において、2中4小の校長が集まり、これからお話しする説明についての協議を行</p>

った。それでは、ここからは開校資料3の資料を元にお話をさせていただく。尾道みなと中学校区小中一貫教育について何点か挙げているが、この中からかいつまんでご説明する。

### 1. 概要について

今まで出ていた内容のとおり。

### 2. 小中一貫教育校の考え方

小中一貫教育校は、市内小中学校の教育環境や教育内容の充実を図っていく上でのモデルとなり、他の中学校区と切磋琢磨しながら尾道全体の教育の質の向上を目指すというミッションが与えられている。同じ尾道みなと中学校区小中一貫教育校では、小学校6年間、中学校3年間という学校教育の枠組みの中で、これまで培ってきた学校行事や学校文化を大切に「知・徳・体」のバランスの取れた生きる力を育成する。これを元に次の具体的な方向性について進めていく。

### 3. 具体的な方向性

9年間の教育課程、指導方法の系統性、連続性が確保された尾道みなと小中一貫教育校となることを目指す。以下の項目について教職員が共通認識を持って、取り組みを進めていきたいと考えている。

#### (1) 各教科等の教育課程について

1点目、義務教育9年間を連続した教育課程として捉え、「育てたい資質・能力」を意識した年間指導計画を作成し実施していく。これについて資料1を準備している。義務教育の基本的な体制である小学校6年間、中学校3年間という枠組み、これを堅持しながら、学びの1つのサイクルとして、小学校1・2年で一区切り、小学校3・4年で一区切り、小学校5・6年と中学1年で一区切り、中学2年・3年で一区切りと考えている。そうすると中学校1年生・2年生・3年生は確かにそうだが、あえて7年生・8年生・9年生という呼び方も導入しながら、ここに書いてあるとおり、子どもたちに付けたい「資質・能力」をそれぞれの発達段階に分けながら発展的に伸ばしていこうと、このような資質能力の表を作成した。注目するのは、5・6・7年の小学校高学年から中学校入学の繋がりのところ、この点をしっかりと重視して取り組んでいきたいと考えている。

レジメの2点目についてはご覧いただきたい。

3点目の総合的な学習の時間割は、これまで各学校が培ってきた学習内容を、小学校と中学校の学びの系統性や連続性を意識して再構成した。

現在、作成している基本計画を元にして開校し、尾道みなと小中一貫教育校の目指す子ども、15歳の生徒に身につけさせたい力、育てたい資質・能力を意識した全体計画と指導計画の実践と改善を進めていく。ということで資料2を準備している。先程の話にもあったが、やはり小学校の5年・6年・中1この接続期というのを非常に大切に考えている。また、クラブ活動での交流を考えており、これは4年生以上となるので、少し帯が長く伸びている点は見えるだろうか、そして異学年交流というのは当然この9年間の中で進めていくことになるので一応丸を付けているが、ここだけが異学年交流するというわけではない。それぞれの学年とペアを含むような学年を設定しながら異学年交流をしっかりと進めていきたいと思っている。また、この図で示したように9年間の学びを意識している中で、小学校が中学校を全く知らない、中学校が小学校を全く知らない、そういったことは絶対にならないように、日々連携と方向性を定めながら進めていきたいと考えている。そのような考えからこのように再構成を行った。

#### (2) 乗り入れ授業

今年度、久保中学校区で実施している。学校間連携加配（英語）、山波小の方には英語の先生が来てくださっているが、こちらの継続をお願いをしている。

#### (3) 異学年交流

先程あったとおり異学年交流というのは、大切な要素であると捉えている。小学校同士の交流、小学校と中学校の交流、小学校や中学校の中で縦割り活動とさまざまなパターンが考えられる。それを仕組んでいく。例えば小学校間では、遠足・社会見学や交流、そして日にち行うオンライン等計画的な交流事業を展開していきたいと考えている。また、1中2小で生徒会・児童会の生活目標を揃えたり、クラブ活動での交流、小小間で連携したり、小中間で連携を行ったりする等実現可能な具体策を実行していきたいと考えている。そこで考えたのが資料3に示している日課表である。山波小学校と尾道みなと小学校については全く同じ時間帯となる。一方、尾道みなと中学校は、中学校は1時間の授業の時間が50分、小学校が45分ここに大きな違いがあるが、できるだけ小中学校が同じ時間帯に同じような活動ができている状態を作れないかということでこのような表になった。例えば、1時間目のスタート8時45分と8時50分の5分の違いはあるが、だいたい同じように1時間目がスタートする。そのように見ていただいたら、10時40分のところ小学校3時間目が行われているところに時間差はあるが、中学校も3時間目が行われているということになっている。そして、13時をご覧いただ

きたい。13時の昼休憩のところはきちんと1本線を引くことができた。放課後等の使い方も考えているが、今のところこのような時程を組んで考えていきたい。

#### (4) 伝統文化活動の取扱い

現在小学校では、久保「能」、長江「しの笛」、土堂「土堂っ子太鼓」に代表される各校の象徴的な伝統文化コンテンツがある。これを特別活動のクラブ活動、4年生以上を対象としクラブ活動の中に引継いでいく。また、中学校では小学校からの学びの連続性を考慮し、小学校で取り組んだ伝統文化に関する学びを、地域貢献の一環として取り組んでほしいということも考えている。例えば、小学校へ教えに来てくれるとか地域のイベントがあった時に出向いていく等の方法が考えられるが、この辺りは現在ここでは机上に乗らないかもしれないが、コミュニティ・スクールとの兼ね合い等も、しっかりと見据えてやっていきたいと考えている。

#### (5) 小中一貫教育の推進体制

推進教員の位置付けを考えている。各学校の校務分掌の中に小中一貫教育のコーディネーターとして「小中一貫教育推進教員」、ここから「推進教員」と呼ぶが、そのような位置付けをする。3人の推進教員がいるので小中一貫教育の推進役を3人に担ってもらおう。推進教員の役割は、小中一貫教育に関する計画、立案、実施、評価等があるが、具体的な内容については、教育研究会、授業公開、学力分析、学力向上対策、異学年交流、家庭・地域との連携、学校運営協議会との連携（コミュニティ・スクール）、情報発信等これらを中心となって展開してもらおうと考えている。また、推進する組織としては令和7年度中に小中一貫教育推進委員会を立ち上げる。委員会には3つの専門部会を設け具体的な取り組みを進めていく。これは資料4に図を載せているのでご覧いただきたい。コミュニティ・スクール尾道みなと中学校区学校運営協議会の下にこの推進委員会を位置付けている。構成としては、学校の校長、教頭、推進教員、各専門部会長、市教委も入っていただくように考えている。それらが推進教員としてのネットワーク、推進教員の3人と部会長となる3人、これらを中心にそれぞれの教育内容を整えていきたいと考えている。3つの専門部会については、現在あるものを並行して繋げていくように考えているので、「教育課程部会」「教育研究部会」「生徒指導部会」の3つを立てている。年間計画としても下にあるようなものを実際に年間計画の中に少しずつ入れながら、来年度を見据えて計画を進めている。今、お話した内容であるが、これを編集するにあたって、こちらの尾道市PTA連合会研修会、この時に皆さんもしかしたら見られたかと思うが、

	<p>この資料と文部科学省から出ている小中一貫した教育課程の編成実施に関する手引きと、もう1つこれは学校名だけになるが、府中市立南小学校に実際に行って研究を重ねてきた。これらの内容から考えて今、私が提案した。資料1から4にあるような内容がふさわしいのではないかと考えている。このように調整工夫をしてきた教育内容だが、本日皆様への報告を持って共通認識をいただき、それを元に1月9日（木）に教育課程等検討部会を予定している。各学校の教務主任、研究主任へ周知をしていきたいと考えている。そしてこの周知ができれば、今度は各学校で職員対象の説明会を経て、在校生・保護者への周知啓発を進めていくという流れになっていく。令和7年度の小学校1年生・中学1年生に対しては、小中ともに入学説明会でこのような内容を計画していきたいと考えている。</p>
小柳委員長	<p>来年度の学校の教育内容等について、構想を部会長の方から説明をしていただいた。日課表もほぼ確定なので、帰りの路線バスの増便の時刻を決めていきたいとかそういった作業もできるということだが、何かご質問があればお願いします。</p>
質問者A	<p>日課表を見て思ったが、中学校の給食は、令和8年度からスタートする予定だが、給食が始まってこの昼食の時間というのは、この20分という形で、令和8年度でまた日課表が変わる予定はあるか。</p>
生徒指導等検討部会副部長（久保中学校長）	<p>令和7年度の日課表で考えているので、給食が始まったら、当然これは準備の時間があるので、また検討する。</p>
質問者B	<p>特別活動のクラブ活動というのはどういうものか。</p>
教育課程等検討部会長（山波小学校長）	<p>中学校のクラブ活動と別の取組と考えてほしい。日課表で言うと、水曜日に委員会クラブが14時40分ではまっているのがご覧いただけるだろうか。これが小学校で言うところのクラブ活動となる。このクラブ活動は月に1回。そうすると年間10回程度、もしかしたら9回のこともあるかと思うが、それぐらいの時間でそれぞれ希望するクラブに行って、4・5・6年生が活動する。山波小学校に太鼓クラブがあるので、そこで太鼓の練習をしている。一方で、太鼓クラブが練習している下の階では神楽クラブがあって、神楽のゲストティーチャーに来ていただいて、</p>

<p>質問者 B</p>	<p>神楽を練習したり模擬的に経験したりしているので、このようなコンテンツを尾道みなと小学校でも実現したいと考えている。</p> <p>指導員であったり予算は、学校のカリキュラムなので教育委員会側から出していただけるのか。学校の先生に教えてほしい。業務の中の1つと考えられるのも分かるが、働き方改革を言ってきて、またこれをするとなれば、専門の人員なり、予算を増やして用意していただけないと厳しいのではないかと。3校で行っている育友会からかなり予算的なものを出させていただいている。今まで出来たから出来るの発想であれば、育友会もパンクする。3年間で27回から30回で伝統だから文化であると継承できるのか。もし意見があれば教えていただきたいと思う。</p>
<p>教育課程等検討部会長（山波小学校長）</p>	<p>今までできたから、できるであろうの発想は違うと思っている。今考えているのは、土堂小学校にあった太鼓等は、尾道みなと小学校に備品として持っていく。太鼓を買うということも予算執行がなくなると。先程ご質問があった「誰が指導するのか」ということだが、山波小学校の場合は、教員の方が一応流れがあるので、それを元に指導はしているが、もしもゲストティーチャーを頼むという場合、やはり先程から私が申し上げているが、コミュニティ・スクールとよく相談して指導に来てもらえないか、という道を作っていけるかと思っている。ただそこでも費用が必要ということになれば、また考えていかなければいけないかとは思っているが、地域の皆さんの力添えをいただけるならば、何とか今までやってきたことが継続できるのではないかと考えている。</p>
<p>質問者 B</p>	<p>今現状でいくと、コミュニティ・スクールで各学校の方で先生を探して来い。こういうことをやってほしいなっていうことをやられているが、これも実際負担なんだろう。分からないが、学校側にコミュニティ・スクールのための先生を探して来いっていうのが、今の現状だと思う。伝統文化であるとかコミュニティ・スクールとか、コミュニティ・スクールの人材を使っているが、ここまでセットでやはり教育委員会行政側で探していただかなければしんどいんじゃないかなと。1月9日採決というか発表されるということだが、もう時間的もないんで、大きく変わらないかもしれないが、さんざん働き方改革を謳ってるのに、先生に働き方改革には見えない。どちらかといえば、子どもの負担ばかり、学校では先生の負担が増えてるようにはしか見えないので、再考できるのであれば考えていただきたいなど、これは保護者の立場としての意見。</p>

小柳委員長	<p>今、いろいろやり取りがあったが、行政の役割と学校の役割、それからコミュニティ・スクールとしての役割とかそれぞれあると思うので、役割分担しながらやっていくべきことだと思っている。</p>
質問者C	<p>クラブ活動ということであれば、子どもたちに選択権があるということか。やらないという選択肢もあるのか。</p>
教育課程等検討部会長（山波小学校長）	<p>全員がどこかに所属する。</p>
事務局（宮崎学校経営企画課企画振興係長）	<p>3. 確認事項について</p> <p>(1) 尾道みなと小学校、尾道みなと中学校の校章（最終デザイン）について</p> <p>尾道市立大学伊藤准教授から、最終デザインを受け取ったので、カラーの印刷物をご覧いただきたい。1枚目が尾道みなと小学校、2枚目が尾道みなと中学校。開校資料2の11ページをご覧いただきたい。デザインのコンセプトを改めて紹介させていただく。</p> <p>○尾道みなと小学校校章デザインコンセプト</p> <p>校名の由来である「港」の「み」をシンボリックに取り入れ、地域社会とのつながりを大切に、歴史や文化を尊重していることを表現した。また、「み」の文字の曲線は、波や柔軟性をイメージしている。基本カラーは瀬戸内海の美しい海と島々を想起する青緑色を採用。伝統や文化を大切にしながら、豊かな未来へつながっていくイメージを視覚的に魅力あるモダンなデザインでまとめている。形状の円形は、互いに協力し調和の取れた学びの場を示している。</p> <p>○尾道みなと中学校校章デザインコンセプト</p> <p>小学校との違いだが、基本カラーは瀬戸内海から広がっていく大海原の紺色を採用。形状の六角形は強度、安定性、調和を大切にした学びの場を示している。</p> <p>当初、提示したものとデザインは変わっていない。色合いの調整をさせていただいている。小学校は「尾道みなとグリーン」としてこの色合いを採用している。中学校は、「尾道みなとネイビー」としてこの色合いを採用している。今後、各学校にPDFデータやイメージデータを提供するので、ご利用いただきたい。</p>

<p>事務局（宮崎 学校経営企画 課企画振興係 長）</p>	<p>（２）尾道みなと小学校、尾道みなと中学校の校歌について 第１２回の開校準備委員会で、尾道みなと小学校と尾道みなと中学校の校歌の歌詞の確認を行っていたが、今回作曲の方が完成したので、開校準備委員会で試聴をしていただきたい。歌詞が開校資料２の１２、１３ページにあるので、ご覧になりながら試聴していただきたい。なお、作詞者の宮本祐香里先生は、作詞活動は旧姓の平野で活動しているということなので、作詞名は平野祐香里に直させていただく。それでは校歌をご試聴いただく。</p> <p>（尾道みなと小学校・中学校の校歌デモＣＤを試聴）</p> <p>中学校については、吹奏楽譜も制作していただいた。今後、学校に楽譜を提供し、開校式でのお披露目に向けて校歌の練習を行っていただく。</p>
<p>小柳委員長</p>	<p>校歌、開校式に楽しみにさせていただきたいと思う。</p>
<p>事務局（宮崎 学校経営企画 課企画振興係 長）</p>	<p>（３）久保小学校、長江小学校、土堂小学校、久保中学校、長江中学校の閉校式（市教委主催）について 総務等検討部会の資料を見ながら閉校式のスケジュールについて確認したい。開校資料２の６ページは閉校式の概要になっている。 久保小学校が３月８日（土）１０時から、久保中学校が３月８日（土）１３時３０分から、長江中学校が３月９日（日）９時から、長江小学校が３月９日（日）１１時から、土堂小学校が３月９日（日）１４時から、閉校式を開始予定。式次第は、小学校も中学校も内容はほぼ一緒で所要時間は約４５分となっている。次のページに市教委の分担の概略を書いている。駐車場誘導に４名、受付５名、案内５名、接待４名、会場６名、司会に学校経営企画課長、来賓入場誘導に庶務課長、主催者入場誘導に教育指導課長、報道機関対応に学校経営企画課企画振興係長が担当する予定となっている。</p> <p>続いて、次のページが会場の配置図となっている。こちらは、久保中学校の例を参考とさせていただいた。今後、各学校の配置図も作成する予定。</p> <p>続いて、各学校のタイムスケジュールになる。こちらは、またご確認いただきたい。各学校の閉校記念事業実行委員会が、閉校式の後、記念碑除幕式等閉校記念事業を計画していると思うが、できる限り、閉校式、</p>

小柳委員長	<p>閉校記念事業については、市教委・育友会PTAとの協力により実施できればと考えているので、今後よろしく願います。ご相談は事務局へしていただきたい。</p> <p>総務等検討部会の中で出たが、PTA・育友会からどのくらいの人数に協力して欲しいのか早く示してほしいというご意見もあったので、今日終わった後にお時間許すようであればご相談させていただきたいと思うし、今日難しいようであれば、年内、年明け早々に連携させていただきたいと思っている。各学校によって事業内容も異なると思うので、今後は個別に対応させていただきたい。</p>
安保副委員長	<p>4. 各部会への検討依頼の内容について</p> <p>(1) 総務等検討部会 総務等検討部会については、今回依頼する内容はない。</p> <p>(2) 生徒指導等検討部会 今回の開校資料1の表にもあるように、まだ黒塗りになっていない部分だが、第2回通学路の合同点検を受けての対応方針について、生徒指導規程、危機管理マニュアルについて、令和7年度通学路の指定について、学校規定品(制服・体操服以外)についても、最終確認ということでまた次回提案の方をよろしく願います。</p> <p>(3) 教育課程等検討部会 この度教育内容についての提案があったので、次回の依頼内容はない。</p>
小柳委員長	<p>5. 第14回開校準備委員会(最終回)での協議事項等(予定)</p> <p>レジメにあるように各部会長から、各部会の進捗状況も総務等検討部会も終了したので、他の2部会からということと、閉校式や4月に入つてすぐ開校式もあるので、開校式等について整理ができていない部分を事務局から説明をさせていただきたい。</p>
事務局(宮崎学校経営企画課企画振興係長)	<p>6. その他 (次回の開催日の提案)</p> <p>令和7年2月10日(月)19時から市役所4階大会議室2にて行う。</p>
小柳委員長	<p>ここで委員長として、1つ提案をさせていただきたい。次回の開校準備</p>

	<p>委員会を最終回としたいと考えている。理由としては、円滑な開校に向けて開校準備委員会は設置されているが、その所掌事務として4つあった校名、校章、校歌等開校準備に関する事、教育課程の編制及び実施に関する事、通学路に関する事、その他開校準備に関する事とあるが、ほぼ開校に向けての方向性が固まり協議や確認する事項も、次回第14回でまとまる見込みのため、このような提案をさせていただきたい。このことについて何かご質問等はないか。</p> <p>それでは、次回の開校準備委員会を最終回にすることでよろしいか。</p> <p>(異議なし)</p>
小柳委員長	<p>では、次回の開校準備委員会を最後とするので、報告とか提案とかあれば全て出し切るということで、調整をしていきたい。以上で本日20時は終了するが、その他何かあるか。</p>
質問者D	<p>この1年間、いろいろとこの開校準備委員会でお話を受けて、総務等検討部会、または生徒指導等検討部会で、いろいろと、うちの役員が話を聞いて、それを運営委員会という役員が集まる会議で話し合ってきた。その中で1点気になるところがある。生徒指導等検討部会でも何度かあげたかもしれないが、体操服の購入先について。これが一応山波の役員の中では、今候補と上がっている3つのお店について、「ちょっと距離があるな。」「ちょっと利便性が悪いんじゃないかな。」という声が上がっている。一応、僕も代表でここに来ている。皆さん、この場合に声を伝える仕事を預かってこの場で発言をさせていただいている。どうすればいいんだろうかっていうところを話し合いしたところ、まずはちょっとどれだけ山波小の保護者が、次の尾道みなと中学校の体操服を買える場所がこの3箇所だったらどれだけ困るのか、もしくは困らないのかもしれない。そこを1回調べて、次回最終回に向けて、山波小として保護者の意見をまとめて、今この場にいる皆さんにお伝えできればと思って動こうと思っている。2ヶ月あるので、山波小で何かしらのアンケートなり意見の場を開催して、保護者の皆さんがどのように思っているのか、全てをかき集めて、次回2月10日発表させていただきたいなと思っているので、その時にまたお時間いただけたらなと思うし、その場ですぐ変わるとは思わないが、保護者の皆さんがこれだけ困っているよというところを、今この場の皆さんに伝えたいなと思っているので、是非、よろしく願います。</p>

<p>生徒指導等検討部会副部長（久保中学校長）</p>	<p>おそらく、そういったご意見があるということは、いろんな場で聞いていたが、公の場での発言は初めてだったのかなと思う。今年度については、製造業者とも協議して、4月1日に全員もれなく間に合うという体制を作るために、現在の久保中学校と長江中学校の販売店をそのまま統合ということでさせていただいた。来年度については、ご意見が山波小の保護者から上がっていることを承知しているので、いろんな意見を聞かせていただいて、今後に活かす。</p>
<p>質問者D</p>	<p>共感いただける小学校もあったら、是非皆さんも意見を集めていただけたらなと思う。</p>
<p>小柳委員長</p>	<p>以上で閉会をする。本日はありがとうございました。</p> <p>(終了 20:00)</p>